とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1394
施設名	宇喜田おひさま保育園
施設所在地	東京都江戸川区北葛西２－１９－１
法人名	社会福祉法人えどがわ

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

アイス

＜テーマの設定理由＞

　今年度は気温が高くなる時期が早かった影響もあり、家庭でアイスを食べた話をする児が多くいた。保育士を交えない子どもだけの会話でも聞かれたので、興味関心が高いと判断。当園の「夏祭り」では、例年4歳児クラスがお店屋さんを行うので、その題材をアイス屋さんにすることで主体的な活動にしていけるのではないかと思い、子どもたちと話を進めていった。そして最終的には、食育として実際にアイスを作り食べてみる。

２．活動スケジュール

５月　夏まつりに向け、お店屋さんごっこの内容を子どもたちと決める。
６月　アイス屋さんで売る為のアイスを作る。店番とお客の役を作り、ごっこ遊びの中で
　　　クラスの友だちと交代で売買のやりとりをして遊ぶ。
７月　全クラス参加の夏祭り本番で、アイス屋さんになりアイスの売買を楽しむ。
８月　クラスで本物のアイス作りをして食べる。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・お店屋さんのアイスや看板→お花紙、ティッシュ、画用紙、色鉛筆、糊、セロテープ
・アイス作り→ヨーグルト、砂糖、冷凍イチゴ、ボール、スプーン、サランラップ、皿

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・お花紙を丸めたアイス部分と画用紙に線を描いたコーンの部分を作り、糊で貼り付けてアイスを完成させる。アイス屋さんの看板は、文字に色鉛筆で色を塗る。
・友だちと売り手、買い手に分かれて売買のやりとりを楽しみ、夏祭りでも全クラスでアイス屋さんごっこを楽しむ。
・本物のアイス作りは、冷凍いちごをつぶし、ヨーグルトと砂糖を一緒に混ぜて冷凍庫で冷やし固めてから、実際に食べてみる。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
・家庭でもアイスを食べたり、外出した時も家族とアイスを食べたりしていることを友だちや保育士に話をしてクラス内が盛り上がっていた。
・好きなアイスの味を言ったり、好きなお花紙の色を選んだりしてアイス作りをしていた。
・「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と言って保育士や友だちとアイス屋さんのやり取りを楽しんでいた。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・子どもたちが意欲的に活動や制作に取り組んでいたので、子どもたちのアイデアや考えを取り入れることの大切さを改めて感じた。
・子どもたちが興味関心のある物を題材にして取り上げたため、子どもたちは期待をもち、楽しんで活動に参加できた。今後も子どもたちが楽しめる取り組みができるように子どもたちの気持ちや意見を聞き、それが実現するように保育を進めたい。